

受賞の言葉

この度は日本計画行政学会 第 21 回計画賞に「第 2 次三遠南信地域連携ビジョン」が「最優秀賞」の栄誉に浴しましたことを、大変光栄に存じます。

三遠南信地域は、愛知県・静岡県・長野県の 3 県にまたがる県境地域であり、歴史的・文化的なつながりを背景に、長年にわたり、産・学・官・民による県境を超える地域づくりの活動を進めてまいりました。

地域づくり活動の指針となる本ビジョンの策定や推進にあたりまして、越境地域であり多様な主体が参加していることから、政策の合意形成や計画の実施・運営体制の面で課題を抱えておりますので、計画の推進組織として「三遠南信地域連携ビジョン推進会議」（通称 SENA）を設立するなど、試行錯誤しながら地域連携の取り組みを進めてきているところです。

本ビジョンは、人口減少や少子高齢化に伴う地域課題に対し、県境を越えた広域連携により持続的な発展を目指すものであり、私たちのこの取り組みは、政府が昨年 6 月に示した「地方創生 2.0」の実現に資するものであると考えております。

今回の受賞を励みに、今後も取組を強化・深化させ、課題解決に向けた具体的な施策の展開に向けて尽力し、三遠南信地域が活力と魅力にあふれた未来へと進むよう、地域の皆様と共に地域づくりに邁進して参りたいと思います。

最後に今回の受賞にあたり審査員の皆様に深く感謝を申し上げますとともに、貴学会の益々の発展をご祈念申し上げます。受賞の言葉とさせていただきます。

三遠南信地域連携ビジョン推進会議
会長 浜松市長 中野祐介

